

第 83 号
平成 27 年
11 月号

HP に 創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水 4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故, 山田整骨院

<http://www//jiko-kumamoto.net/>

便秘と劣等生(その 2)

女学生の腸と脳との相関研究断面

福岡県立筑紫高等女学校 阿高卯平
月刊 西式 昭和 13 年 3 月号

(七)全学科成績より見たる便通

ここに (五) 便通より見たる全学科成績の逆説的考察をすることにより、一層この両者の関係を正しく認識することが出来ると思う。

全学科	便秘	普通	健康	計
優等生	29.2%	58.5%	12.3%	100%
普通生	29.8%	60.7%	9.5%	100%
劣等生	47.5%	52.5%	0%	100%

(略) 全学科では優等生の便秘は最少であるが、劣等生となるに及べば便秘は急に伸展し遂に 47.5% の驚くべき高率を示しているのに眼を引く。之に反し優等生の健康は断然栄光を放ち普通生より劣等生に至るにつれ順次減少し、遂に全教科の劣等生には生理的健康は一人もないことを見る。…略…

(八)数学科成績より見たる便通

最後に (六) 便通より見たる数学科成績の逆考察をして見よう。

数学科	便秘	普通	健康	計
優等生	16.6%	61.2%	12.2%	100%
普通生	32.8%	58.6%	8.6%	100%
劣等生	30.0%	62.0%	8.0%	100%

数学科優等生の便秘はやはり一番少いが、全学科成績程の大差はない。且つ健康が最も多いことは力強く感ぜられる。劣等生には便秘の多い割合に健康は甚だ僅かである。…略…

(九)便秘症状について

下記 (略) に示す如く不眠、疲労し易し、記憶力減退、思考力不足などの多いのは、さることながら、食欲不振は極めて少ない。少女時代の成長期には如何に食欲旺盛なるかを興味深く物語っている。…略…

(二) 常習便秘日毎人数

二日毎 159, 三日毎 20, 四日毎 8, 五日毎 4, 七日毎 1, 極硬柔便 6, 計 198 人

二日毎が断然多い。少女時代に三日毎以上がこうも相当数に昇っているのは警戒すべき事である。因に生理的健康体 65 人について調査したるに、毎日おおよそ 2 回快便の者が絶対的多数 63 人で凡そ三回の者は僅か二人しかない。…略…

(十)自己健康判断と便通との相関

第八図 (略) 全生徒の自己判断によって、大体健康と思う者が 76.6% ある事を示し、更にその中には、普通体が最も多く、便秘これに次ぎ、生理的健康の割合は案

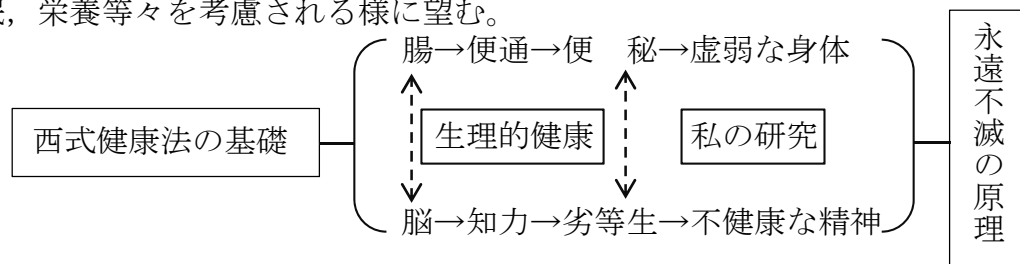
外少ない。この便秘が 26.6%の多数に昇っているのは、如何に常習便秘が一般人の間に普遍化されているかを物語っているもので誠に憂うべき事で、是非少女時代に便秘を解消して置く必要がある。…略…

(十一)むすび

私は女学生の「腸と脳」——「便秘と劣等生」との統計的調査研究のため、色々先賢諸士の御意見に従い私見を述べて来たが、結局次の諸点に帰することになる。

1. 常習便秘は劣等生に多く、優等生に少ない。2. 生理的健康は優等生に多く、劣等生には殆んどない。3. 普通健康は学科成績に大した関係がない。4. 臨床法と全く異なる机上の統計表によっても、西式健康法の基礎たる腸と脳との関係が密接であることを知ることが出来る。5. 毎日2、3回の快便あるのを生理的健康と仮名していたが、やはり正しかった。毎日1回では優等生は期し難い。これは西先生著「一日一回便通主義の可否」中の御説にも適合する。6. 全学科と数学科との相関関係が非常に密接な事も解った。

最後に眼を最近の社会健康論に転じて見よう。その傾向は余程好転したとは云え、尚栄養第一を論じて便通の一項を欠くものが多い。本日の福日新聞紙上に「過食と便秘は脳の働きを鈍す」との題目下に於て、受験準備中の衛生を語る記事は栄養本位であるが、便通に注意を払ったところ大変嬉しく感ぜられる。世の父兄達よ、腸の状態はこの様に脳に影響を及ぼすもので、便通は健康のバロメーターとなることを知って戴きたい。御子弟の学科不振を責められる前に、先づ便通！それから睡眠、栄養等々を考慮される様に望む。



私達は西式健康法の基礎が永遠不滅の原理に立つことを喜び合い、我国の非常時局対策の一として、日々精励を続け、常に腸と脳との機能を調整し、以て生理的健康の法悦境に突入しましょう。剛健な国民精神は健全な国民体位に宿るを以て、西式健康法を社会一般の人々にも普及せしめることこそ、私達会員の本務でありましょう。色々秃筆を振り回した事をご容赦下さい。(松井大将凱旋の日)

解 説

便秘、宿便は西式健康法では万病の元です。脳いっ血、脳梗塞の原因も西式では便秘です。それ故 脳卒中で倒れた場合、最重要の西医学の治療法は浣腸、断食、スイマグ(水酸化マグネシウムの下剤)によって、腸に滞留した便を排出することです。この方法で脳卒中が後遺症なく、嘘みたいに綺麗に治った体験談が「断食体験者108人の報告」という本に出ています。(熊本県立図書館所蔵)

頭脳と宿便との関連では祐天寺の初代祐天上人が小僧時代、暗愚で経文が覚えられず破門されて悲嘆し自死しようと思って絶食したのですが、結果として断食による宿便排出となり、聡明になって高憎となったお話があります。舞踏病の子供が断食療法により、難病も治り頭脳明晰になりました。筆者も1週間の断食をして後、2週間の回復食の期間、頭が澄み切って今なら勉強が進むだろうなとしみじみ感じました。成績が芳しくない場合、考えてみる必要があります。